



竜北生の「矜持」をもって！

校長 尾崎 淳一

- 教え子が、**たのしそう**に授業に参加していた。
- 子どもたち同士で、しっかりとコミュニケーションをとり、**たのしそう**に授業を行っていた。
- 生徒がとても**主体的**で、学びをたのしむ姿が見られた。
- 子どもたちの**反応が良く**、素敵な授業だった。
- 小学校の卒業生に会ったが、**皆いい顔**をしていて嬉しかった。
- **自分の考え**をもち、仲間の意見や教師の問い返しを受けて**考えを深める**生徒の姿が見られた。
- 生徒が**前向き**に取り組む姿は素晴らしかった。
- 教師の発問に対する、生徒の**レスポンス**が速かった。
- 生徒が**教師や仲間を信頼**している感じがして、**安心して**授業を受けている様子が伝わってきた。
- 実験中、生徒が**楽しそうに試行錯誤**している姿が印象的だった。
- 授業はもちろん、生徒が**生き生きと**過ごしている様子が見られた。
- **一生懸命**に課題に向き合い、考えている生徒の姿が印象に残った。
- 生徒が、「浮力」の計算をしっかりと**身に付けて**いて感心した。
- **生き生きと**授業に向かう生徒の姿は、とてもよかった。
- **明るい雰囲気**の学校で、とてもよかった。
- どの授業も、生徒と教師の**生き生きとした姿**が見られた。
- **授業態度**が素晴らしく、互いの考えを聴き合う生徒の姿が、**温かい教室の雰囲気**を作っていた。



上の文は、23日（木）に開催した研究発表会「**学びをたのしむ竜北生－生徒と教師が共に育つ学校づくり－**」に参加してくださった教員のアンケートから、ほんの一部を抜粋したものです。当日の授業の様子から、多くの方が**竜北生の皆さんの「よさ」**に気づき、嬉しいメッセージをくださいました。日頃から学びをたのしんできた成果ですね。

私は、**歴史ある竜北中学校の名誉ある第12代校長【尾崎淳一】**ですから、当然、竜北生の皆さんの「よさ」をたくさん知っていますし、何よりも竜北生を応援しています。そして、それは竜北中学校の教職員、いわゆる「**ファミリー竜北**」の共通の想いです。今回の研究発表会では、きっと**竜北生の「大ファン」**が増えたことと思います。私にとって、竜北生の素敵さ・素晴らしさを多くの人に伝えられたのは、何よりも嬉しいことです。

しかし、私も油断していると、「**令和7年度『竜北生ファンクラブ』第1号**」の座を新規会員に脅かされるので、竜北生の「よさ」を3つに絞って、改めて皆さんに伝えます。

- ① **自分の「全力」**を出して頑張れること。授業でも部活でも行事でも、**清々しさ**を感じます！
- ② **学校を「大切」**にできること。ごみも落書きもない。ロッカーも美しい。**感謝の一言**です！
- ③ **「よさ」を発揮**できる集団であること。仲間を認める温かい空気は、とても**心地よい**です！

「**矜持**」（きょうじ）という言葉があります。その意味は「**自分の能力を信じて、誇りを抱くこと**」で、英語では「PRIDE」ですね。竜北生の皆さんは特に意識せずとも、毎日の「**竜北ライフ**」が**とてもハイ・クオリティー**なものであることが、アンケートから実証されました。これからも、**竜北生としての「矜持」**を胸に、学びをたのしみましょう。

次は文化祭ですね。**ノリノリでナウいフェスティバル**を期待します。**「竜北生、Go!!」**

文化祭を来週末に控え、各クラスの合唱練習に熱が入ってきました。竜北生の合唱は素晴らしいと噂に聞くので、本番の舞台が楽しみです。また、PTA出し物の練習もスタートしました。歌もダンスも得意な私には、練習の必要はありません！もちろん**ウソ**です……。

（令和7年10月29日）